

「Eco列車でいこう！」～第119回～アメリカ。エコじゃないドライブ

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！) 

ゴールデンウィークの10連休を利用して「アメリカドライブ」の旅を企画した。4月28日(土)。羽田発ロサンゼルス行きのアメロ航空機内は、乗客の9割が日本人のようだ。

海外での運転は初めてなので、事前に聖籠町の免許センターで「国際免許証」を取得。申請だけで簡単に発行してもらえた。次に、レンタカーサイト「Rentcar.com」で車の予約。そのほか、航空券も7泊分のホテルも、すべてインターネットで予約。便利な世の中である。

ロサンゼルスで入国審査を済ませ、国内線でラスベガスに着いたのが現地時間の28日15時頃。専用バスでレンタカーセンターに送られて「Alamoレンタカー」で車を借りた。

今回はダート(未舗装)道の運転も予定しているので、SUV車を借りることにした。金額は8日間で約5万円。「ロサンゼルスで乗り捨て」については追加料金はかからなかった。

10台くらいの車種から、自由に選べるシステム。アメリカらしいトラックタイプもあり、少し心を惹かれたが、防犯上に不安がある。結局、安心の「トヨタRAV4」にした。

左ハンドル、右車線に緊張しながら、中心街にあるホテルに無事到着。街を歩き、大きなステーキを食べ、少しカジノで負けて1日目が終わった。

2日目の午前中、フーバーダムに向かう。アメリカの高速道路(インターステートハイウェイ)は全線無料で、制限速度は75マイル(約120キロ/州によりことなる)。約1時間でフーバーダムに着いた。

大恐慌時代に公共事業として建設されたこのダムは、黒部ダムの5倍の貯水量があるとのことだ。渇水期なのか、あまり迫を感じられなかったが、各地からの観光客でにぎわっていた。

アウトレットモールや巨大スーパー(ウォルマート)に寄って、ホテルに戻り、夜はショーを鑑賞した。

3日目、いよいよアメリカの大平原を走る。約700キロのドライブのため、朝6時にホテルを出発。インターステートハイウェイを快適にドライブする。ハイウェイを降りて、一般道を走っている途中で日本時間の5月1日になり、アメリカの田舎道で「令和」を迎えた。11時頃、ホースシューベント着。コロラド川が湾局し、広大な風景を作り上げている。崖の真上まで行けるが柵はない。自己責任の国である。

片側一車線の一般道でも最高速度は65マイル(104キロ)である。日本なら50キロ制限であろう。ただし、アメリカの道はほぼ直線なので安全なのだろう。途中、初めてガソリンスタンドに寄る。日本のクレジッカードは使えず、店内で現金を払い給油した。生野菜を欲し、スーパーでサラダを買って昼食にする。

ひたすら走り続けて、15時頃、奇怪な岩礁群が遠くに見えてきた。「モニュメントバレー」である。西部劇など多くの映画の舞台になったモニュメントバレーは、インディアン「ナホバ族」の移住地で、独特の文化を持っている。沿道の土産物屋では、ナホバ族オリジナルのクラフト製品(アクセサリなど)を売っている。

ビジターセンターに寄ってから、ダート道へ。巨岩(メサ)を回る「パレードドライブ」だ。このために借りたRAV4は大活躍。約1時間のデコボコ道も快適に走れた。夕刻、モニュメントバレーを遠望できる「ゴールディングスロッジ」にチェックイン。この地区では、飲酒が禁止されているので、名物「ナホバタコス」を肴に、ノンアルコールワインで乾杯した。

4日目。毎日天気が良くてうれしい。ロッジに併設されている博物館を見学してから、モニュメントバレーを遠望する「フォレストガンブポイント」へ。素晴らしい景観に満足し、次の目的地「グランドキャニオン(サウスリム)」に向かう。(次号につづく)

